

5 講じた防止対策別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、防止対策を講じたものが全体の60.1%

〈統計表第21表、第29表参照〉

典型7公害の直接処理件数(44,653件)を講じた防止対策¹⁰別にみると、「作業方法、使用方法の改善」が20,355件(45.6%)、「その他の方法で対策を講じた」が6,485件(14.5%)、「防止対策は何も講じていない」が8,015件(17.9%)、「不明」が9,798件(21.9%)となっており、防止対策を講じたもの¹¹が全体の60.1%となっている。【図22、表13】

図22 講じた防止対策別典型7公害の直接処理件数

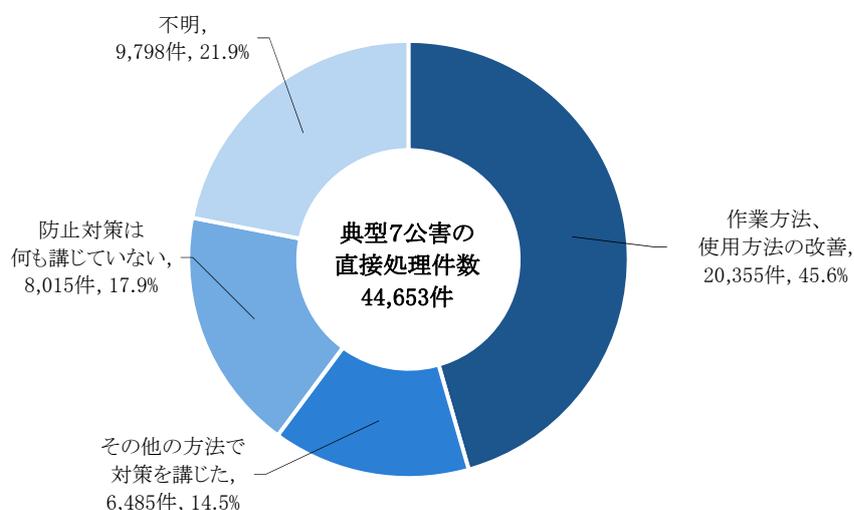


表13 講じた防止対策別典型7公害の直接処理件数

(単位: 件)

公害の種類		合計	作業方法、使用方法の改善	その他の方法で対策を講じた	防止対策は何も講じていない	不明
直接処理件数	典型7公害	44,653	20,355	6,485	8,015	9,798
	大気汚染	12,102	6,457	1,861	1,924	1,860
	水質汚濁	4,100	1,069	1,070	1,249	712
	土壌汚染	153	35	65	28	25
	騒音	17,616	8,510	1,981	2,560	4,565
	低周波音	244	42	37	97	68
	振動	2,085	1,079	181	302	523
	地盤沈下	36	-	22	10	4
	悪臭	8,561	3,205	1,305	1,942	2,109
	構成比(%)	典型7公害	100.0	45.6	14.5	17.9
大気汚染		100.0	53.4	15.4	15.9	15.4
水質汚濁		100.0	26.1	26.1	30.5	17.4
土壌汚染		100.0	22.9	42.5	18.3	16.3
騒音		100.0	48.3	11.2	14.5	25.9
低周波音		100.0	17.2	15.2	39.8	27.9
振動		100.0	51.8	8.7	14.5	25.1
地盤沈下		100.0	0.0	61.1	27.8	11.1
悪臭		100.0	37.4	15.2	22.7	24.6

10 講じた防止対策の区分は、「作業方法、使用方法の改善」「その他の方法で対策を講じた」「防止対策は何も講じていない」及び「不明」の4種類

11 防止対策を講じたものについては、「作業方法、使用方法の改善」及び「その他の方法で対策を講じた」の合計